

コーポレートメッセージ

キノウを超える、ミライへ。

創業以来、限りある資源を活かした、たくさんの「機能」は、皆様の声に耳を傾け、ともに作りあげてきたものです。

私たちは、素材・建材・空間づくりで、

そんな「昨日」を一つずつ積み重ねてまいりました。

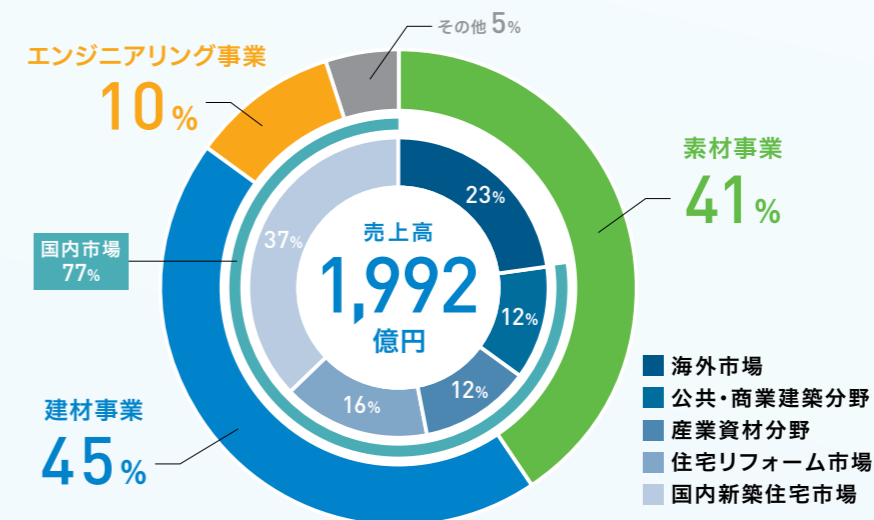
これからもずっとつづく、心豊かで、こちよ未来のために。

これまでにない機能を見だし、昨日を超えていく。

人々がもっと輝くミライへ。

私たちは、新たな可能性に挑戦しつづけてまいります。

事業別/市場別売上高構成(2020年度)



数字でみる大建工業グループ(2020年度)

営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益	
87 億円	56 億円	
ROE	配当金	時価総額
9.1 %	1株当たり 70 円 配当性向 32.4 % 配当利回り 3.2 % ※2021年3月31日時点	574 億円 ※2021年3月31日時点
創立	従業員数	生産拠点
1945 年 9 月	3,852 名 ※2021年3月31日時点 国内 2,449 名 海外 1,403 名	国内 12 拠点 海外 6 力国 8 拠点

CONTENTS

大建工業グループの価値創造	価値創造の戦略	価値創造を支える基盤
コーポレートメッセージ 1	長期ビジョンの実現に向けた 中期経営計画の進捗 29	ESG経営の実践 47
数字でみる大建工業グループ 2	事業別/市場別戦略 31	E 環境 49
大建工業グループの目指す姿 3	事業概況 33	S 社会 51
トップインタビュー 5	中期経営計画の経営目標と 業績予想の差 35	G ガバナンス 55
大建工業グループの歩み 11	注力市場への取り組み 36	役員一覧 67
強みを活かした製品 13	海外市場 37	
価値創造プロセス 15	公共・商業建築分野 39	
ビジネスモデルと強み 17	住宅リフォーム市場 41	
リスクと機会・重要課題(マテリアリティ) 19	研究開発 43	
持続可能な木質資源活用の追求 21	財務戦略 45	
特集:地域連携による 国産木材の新たな用途展開 23		
事業を通じた価値創造 25		

編集方針

大建工業グループでは、すべてのステークホルダーの皆様へ、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを、財務・非財務の両面からご理解いただくことを目的に、2016年度から統合報告書「DAIKENグループレポート」を発刊しています。

本レポートでは、ステークホルダーとの対話を通じて得られたご意見をもとに、改めて当社グループが歴史を経て培ってきた強みを明確に示すとともに、中長期の経営戦略に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクと機会について、その背景にある外部環境やトレンドとともに整理し、優先的に対処すべきとした重要課題(マテリアリティ)に関する取り組みを中心にご紹介しています。

環境データなど、ESG情報の詳細については、当社ウェブサイトにも掲載していますので、併せてご覧ください。

報告範囲

大建工業株式会社および大建工業グループ
※環境データ等は、一部範囲が異なります。

対象期間

2020年度(2020年4月1日~2021年3月31日)
※一部上記期間以外の内容も掲載しています。

参考ガイドライン

- 国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- ISO26000

【将来の見通しに関する注意事項】

このレポートに記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、将来の予測数値や、施策の実現を約束したり、保証するものではありません。